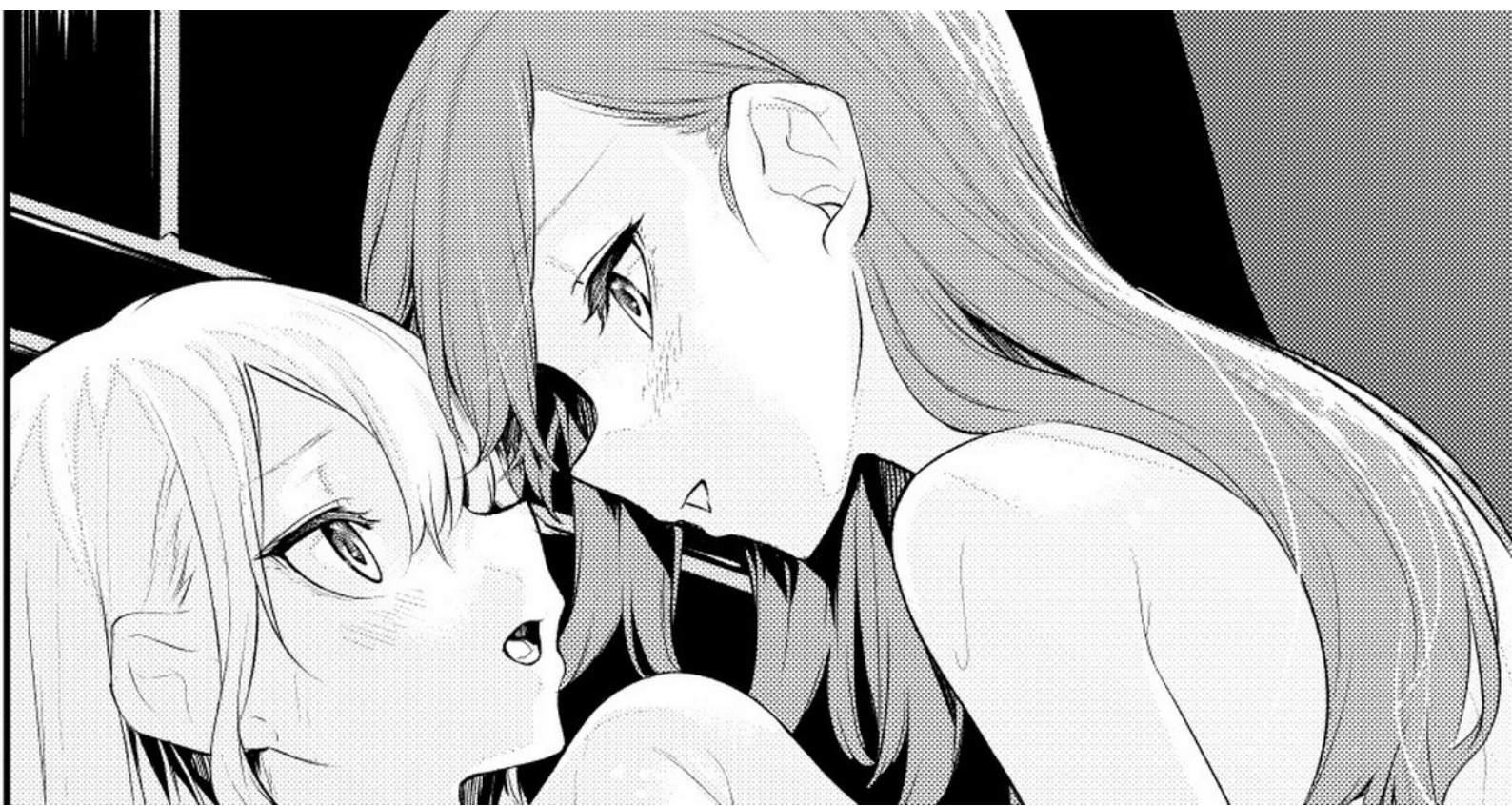




私の仕えるお方は
良家の御令嬢だ

いつでも美しく
大人びた雰囲気
の
佇まいには見惚れてしまう



お嬢様！

お風呂の準備が
できております

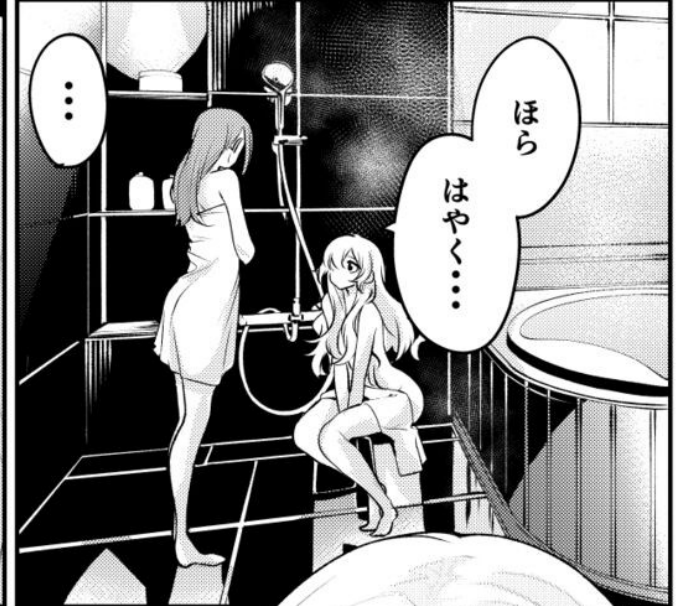
ありがとう

体流してもらって
いいかな？

はい！
もちろんです！

普段から私にも優しい
お方だけど一つだけ
困ったところがある…





かかしこまりました

んきんき

ドクッ...

ドクッ...

ちゅる...

ん...
んあ...

ちゅ...

地肌と地肌が直接
触れ合うと心地よい...

お嬢様のお身体

柔らかくて
気持ちいい...

あっ...

ちゅっ...

すごく...いい

それに幸せだけど
すごくいけないことを
してる気分...

もっと...全身...

そう考えると
すごく興奮してしまう

ね…

まだ足りない

もっ…んん！

お嬢様の声身体
全てが私をおかしく
させて…

ん…

ちゅっ

どんどん止まらなくな
っていく

お嬢様

すごく気持ちいいです…

うん…

もっと…
好きにしていよ

まともな判断はできない
ただただこの幸せに
溺れていたいのです…

もっともっと

お嬢様を全身で

お嬢様

ここも綺麗に
致しますね…

ん…

あ

ちゅ…

感じさせて
ください…

あ…すき…



